

## トピックス

### ■Top10%補正論文数（研究の質）の伸び率が全国第2位に

本学の「研究の質」を図る Top10%補正論文数が 114%増加（直近5年間の2009～2013年と1999～2003年を比較）し、伸び率が全国の大学の中でトップ2位になりました。本調査結果は文部科学省科学技術・学術政策研究所(NISTEP)の報告資料「研究論文に着目した日本の大学ベンチマーキング2015」で明らかになりました。

本ベンチマーキングは、各大学の「個性（強み）」を把握するために、2004～2013年の10年間で1,000件以上の論文を産出した136大学（国立大学64、公立大学15、私立大学57）を対象に実施。主に自然科学系における論文の量と被引用 Top10%補正論文数を基に、各大学の分野特徴や時系列での変化、相対的な状況を分析しています。本調査結果は、客観的エビデンスとして大学改革や政府の政策作成などに活用されています。参考 [http://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news\\_id5333.html](http://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id5333.html)

## 最近の大学の取組

### ■医歯薬学総合研究科 三朝地域医療支援寄付講座を開設

平成28年1月より、医歯薬学総合研究科に寄付講座「三朝地域医療支援寄付講座」が開設され、1月8日、講座が設置される三朝温泉病院（鳥取県東伯郡三朝町）において、協定書調印式及び開設式が行われました。

同寄付講座は組織見直しによる岡山大学病院三朝医療センターの閉院に伴い、患者の継続的な診療や、同センターが担ってきた温泉資源を活用した地域医療の継続などを目的として開設されました。同研究科は鳥取県中部医師会からの寄付を受け、平成30年12月までの3年間を契約期間とし、医師2人を三朝温泉病院へ派遣。これまでどおり質の高い診療を継続します。

参考 [http://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news\\_id5366.html](http://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id5366.html)



### ■学都研究・学都チャレンジ企画成果報告会を開催



本学地域総合研究センターは1月15日、学都研究・学都チャレンジ企画成果報告会を本学国際交流会館にて開催。研究成果の報告やワークショップを行い、一年間の活動を振り返りました。

第一部の学都研究成果報告会では、学都研究として同センターが掲げる「地域と医療」「地域と教育・スポーツ」「まちづくり・地域創生」「地域と環境」という4つの柱のもと、教員7人が発表。瀬戸内の島々での電気自動車（EV）実用化に向けた取り組みや、地域スポーツ振興を

めぐる研究といった研究成果などについて報告しました。

第二部では、学都チャレンジに採択された団体の学生や教職員によるワークショップが行われ、「学都チャレンジ企画の活動が学生にもたらした効果」について議論しました。

参考 [http://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news\\_id5377.html](http://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id5377.html)

## ■産学連携教育日本フォーラムの代表理事を招き、役員招聘特別講演会を開催

本学は1月13日、NPO法人産学連携教育日本フォーラムの宮川敬子代表理事を招き、役員招聘特別講演会「海外インターンシップ ―国内外の大学における取り組みの現状と課題―」を開催。森田潔学長をはじめ、役員や部局長、教職員ら約60人が聴講しました。

宮川代表理事は、カナダや、ドイツ、オーストリア、タイなど海外の大学における海外インターンシップの取り組み事例について紹介。比較的実績の少ない日本の大学の現状分析や今後の方向性について講演しました。講演後の質疑応答では、参加者から学生の英語力や、具体的な教育プログラムの構築方策などに関する質疑があり、活発な意見交換を行いました。

参考 [http://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news\\_id5364.html](http://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id5364.html)

## 学生の活躍

### ■「キャンパスベンチャーグランプリ中国」で優秀賞、奨励賞を受賞

本学大学院自然科学研究科機械システム工学専攻の2チームが1月12日、学生がビジネスアイデアを競う「第14回キャンパスベンチャーグランプリ中国」で、テクノロジー部門優秀賞（ツネイシパートナーズ賞）と奨励賞を受賞しました。

テクノロジー部門優秀賞は、レジの混雑緩和を目的に「自動精算かごシステム」を提案した真鍋友希さん、浅野友也さん、高石晃希さん、林祐矢さんのチームが受賞。奨励賞には、富田最さん、馬場勝一朗さん、山本崇義さんのチームが提案した「良加工性かつ高強度な金属板を製造するための圧延ローラの開発」が選ばれました。両チームのアイデアは、機械システム工学専攻の「高度創成デザイン」の講義で発案。本学からの受賞は5年連続です。



参考 [http://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news\\_id5393.html](http://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id5393.html)

### ■テニス部に岡山県車いすテニス協会から感謝状

本学テニス部に岡山県車いすテニス協会から感謝状が贈呈されました。

テニス部は、医学部硬式庭球部とともに平成18年頃から毎月1回開催される車いすテニススクールにボランティアとして参加。ラリーや球出し、ダブルスのゲーム形式の練習を手伝ってきました。また、毎年12月に開催されるニューミックス大会では、車いすテニスプレーヤーとペアを組んで大会に参加するなど、日頃の練習を生かすとともに、車いすテニスプレーヤーの方々と交流を深めています。テニス部はこうしたボランティア活動を継続的に実施しており、今回、車いすテニスの理解とその普及に貢献してきたことが評価され、感謝状が贈られました。

キャプテンの吉藤亨希さんは「私たちの活動が認められ、感謝状を頂けたことを大変嬉しく思っています。このボランティア活動は、私たちにとって人との出会いやテニスの楽しさを感じることができるものであり、毎回楽しみにしています。先輩から引き継いだ活動を今後も続けていきたいと思ひます」と話しました。参考 [http://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news\\_id5345.html](http://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id5345.html)

## 行事予定

- ・第9回高度医療都市を創出する未来技術国際シンポジウム 2月5日 自然科学研究科棟
- ・医療展示会 中央西日本メディカル・イノベーション2016 2月16～17日 Junko Fukutake Hall

---

岡山大学公式ホームページ <http://www.okayama-u.ac.jp/>  
岡山大学 Facebook ページ <https://www.facebook.com/OkayamaUniversity>  
岡山大学 Twitter [https://twitter.com/okayama\\_uni](https://twitter.com/okayama_uni)  
岡山大学チャンネル <https://www.youtube.com/user/okayamaunivpr/videos>

【お問合せ先】 岡山大学広報・情報戦略室

Tel : 086-251-7292, 7293 Mail : [www-adm@adm.okayama-u.ac.jp](mailto:www-adm@adm.okayama-u.ac.jp)